



県病医療ニュース

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号 TEL097-546-7111(代表) 内線7712:県病ニュース係



※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

大分県立病院ウェブサイトはこちら

呼吸器腫瘍 内科

チームで対応!! 免疫療法の副作用。

肺がんに対する治療法として、以前から手術と放射線治療、抗がん剤治療が3本柱とされてきました。最近では第4の治療法として、もともと人に備わっている免疫システムを活性化してがん細胞を攻撃する「がん免疫療法」が注目を集めています。

この「がん免疫療法」が肺がん診療の現場に導入されてから約4年が経過しますが、以前と比べると長期間に渡って治療を継続できる患者さんが明らかに増加してきています。

一方、「がん免疫療法」により活性化された免疫システムが「がん細胞」以外の細胞にも攻撃を加えてしまうことによる副作用(免疫関連副作用)が問題となっています。この免疫関連副作用は体中のいたるところで起こる可能性があり、従来の抗がん剤治療ではあまり経験することのなかった甲状腺や副腎、神経や筋肉などにも異常をきたすことがあります。このため、1つの診療科だけでこの免疫関連副作用へ対応していくことは非常に困難です。



患者さんに安心して「がん免疫療法」を受けただけのように、当院では複数の診療科の医師、看護師、薬剤師などのスタッフが免疫関連副作用に関する情報を共有し、チームとして副作用対策ができる体制作りに取り組んでいます。

(呼吸器腫瘍内科 部長 森永 亮太郎)

以前、心臓病には絶対安静が基本でした。しかし過剰な安静は運動能力や体の調整機能の低下など社会復帰の遅れを招くため、最近では早期から「心臓リハビリテーション」が行われます。

～心臓リハビリテーションとは～

リハビリテーションというと機能回復訓練を思い浮かべませんか。心臓リハビリテーションは機能回復訓練に加え、運動療法を中心として学習活動、生活指導、カウンセリングからなる生活習慣改善も行う総合的なプログラムです。患者さんが1日も早く快適な家庭生活や社会生活に戻って生活の質(QOL)を改善し、再発を予防することを目的としています。

～心臓リハビリテーションプログラム～

心臓リハビリテーションのプログラムは【急性期】【回復期】【維持期】の3段階に分かれます。

入院 → 退院(転院) → 社会(自宅)復帰

時期区分	急性期 (1～2週間)	回復期 (2～3週間)	維持期 (一生涯)
場所	病院	自宅または病院	自宅またはリハビリ施設 スポーツジム
内容	日常生活訓練 生活指導	運動療法 カウンセリング 生活指導	運動療法 二次予防
目標	体力の回復 日常生活の自立	社会復帰 再発防止	再発防止 健康維持

【急性期】…洗面、トイレなどの身の回りの動作ができるようになることを目標とします。急性期の治療とともに、段階的に活動量を増やしていきます。

【回復期】…社会復帰、再発防止を目標とします。積極的な運動療法、カウンセリング(復職の相談、不安などの心理的問題)、生活指導などを行います。

【維持期】…再発予防、健康維持を目標に一生涯続けて行われます。

当院は急性期を担当しています。急性期は血液の循環が不安定で、病状をよく把握する必要があります。

このため当院では心臓血管外科、循環器内科の医師と連携を図りながら、心臓リハビリテーション指導士の資格を持つ理学療法士、看護師が患者さん一人ひとりにあった運動療法と生活指導を行っています。

(リハビリテーション科看護師 心臓リハビリテーション指導士 小出 美和)



看護師ほか医療スタッフの
臨時職員を募集しています。
詳しくはこちら